



立野

練馬区立立野小学校

平成27年 11月号

<http://www.tateno-e.nerima-kyo.ed.jp>

三つの間

校長 池上 育志

「校長先生、どうして休み時間は外で遊ばなければならないのですか。読書とかでもいいのではないですか。」

「なるほど。読書は一人でできるよね。遊ぶことは、友達と一緒にいないとできないよね。だから、遊べるときには外で遊ぼうよ。」

運動会が終わった次の週のある休み時間、私が校庭に出ようとしていたときに高学年の子から話しかけられた時の会話です。

読書もとても大切なことで、本校でも読書月間を設け、本の探検ラリーやブックトークを行っています。読書好きな子には休み時間も是非読書をしたいという思いがあっても自然なことです。では、なぜ外遊びを推奨するのでしょうか。

本校では生活指導の重点目標を「豊かな人間関係を築く」とし、具体的な目標を三つあげています。その中の1つに「外遊びの徹底」があります。雨天や雨天後の校庭不良が無い限り、休み時間は外で遊ぼうということです。

豊かな人間関係を築くことで大切な「関わり合い」にとって重要な内容で「三つの間」があるといわれています。一つ目は「時間」です。関わり合うためには時間が無ければなりません。二つ目が「空間」です。やはり、空間が無ければ関わり合いはもてません。三つ目に「仲間」があげられます。人は一人では、他者と関わり合うことはできません。読書はこの仲間が無くても可能です。仲間の代わりになるのが肝心の「本」ということになると思います。本(読書)は自分が体験していないことや知らない知識など様々なよいことを与えてくれます。一方、「遊ぶ」ことは「仲間」がいなければできません。学校は皆が集い学び遊ぶ場です。幸い本校には広い校庭もあります。休み時間は多くの子供たちで校庭はいっぱいになっています。それぞれの学年の子供たちが上手にそれぞれの遊びに興じています。

校庭という「空間」は、子供たちにとって安心して遊べる場です。そして、遊びの中で様々な関わり合いを学ぶことができます。元気に遊び回るとは体力向上にもつながりますが、豊かな人間関係を築く貴重な場にもつながります。夢中になったり、笑ったりする中で、思いやりの気持ちを学べる出来事もたくさん生じるからです。ですので、本校では重点目標の一つとして掲げています。

校庭での遊び好きでもあり、読書好きな子でもある子がどんどん増えていってほしいと願います。

ちなみに、生活指導の重点目標の三つとは、「挨拶の徹底」「規則・規範の尊重」「外遊びの徹底」です。ご家庭でも三点について、学校での様子を子供たちから聞いていただき適切なお助言をよろしくお願いいたします。

挨拶については学年毎の挨拶週間を設けていますが、小中一貫教育の一つとして、石神井西中学校区の四校(石神井西中学校、石神井西小学校、関町小学校、本校)で連携して10月27日から30日まで朝の挨拶運動を行いました。

水漏れ事故の改修工事等につきましては、おかげさまで10月20日にて無事終了しました。長期間にわたり様々な点でのご理解ご協力の程大変ありがとうございました。なお、水道蛇口については今月中に校内すべての場所の交換を行います。